長野市行政改革推進審議会	
令和２．３．16	資料３

令和２年度の行政評価の見直しについて

１　本市の状況

○　行政の施策、事務事業を一定の視点により客観的に評価し、事務改善や総合計画の推進、分かりやすく透明性の高い市政運営につなげていくため、平成 14 年度から導入し、評価の対象や項目に改良を重ねながら制度を運用している。

※行政評価の目的

(1) 市民本位の効率的で質の高い行政の実現

(2) 市民への説明責任を果たし、透明性の高い行政の実現

(3) 成果志向の行政運営の実現

○　今年度から本市は、全庁を挙げて SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取組を推進していくこととし、行政評価にもその視点を取り入れていく必要がある。

２　来年度の行政評価の見直しの考え方

(1) これまでのように、有効性、効率性、費用対効果の観点から当該事業について絶対的評価による成果検証を行うのではなく、SDGs の観点から事業の相対的評価による成果検証を中心として行うことに変更する。

市の裁量で実施する事業*を中心に、SDGs のゴールとの関係性から評価（点数化）し、相対的な評価が低い事業をピックアップするなどして、実効性の観点から継続の可否を議論する。

併せて、変更をきっかけに、職員の SDGs に対する理解を深める機会とするとともに、新規事業の企画立案にもつなげていくことを目指す。

＊市の裁量で実施する事業：
法律や国・県の通知などで実施が義務付けられている「児童手当支給事業」「国民健康保険給付事業」などの法定事務事業や施設建設・改修のハード事業等を除いたもの。

(2) 施策評価は、施策ごとに設定している指標の達成状況に加え、新たに SDG s のゴールからの実施状況も踏まえることにより、課題と今後の展開を整理し、総合計画の着実な推進につなげていく。

３　行政改革推進審議会での審議（案）

(1) 本市の行政運営が、効果的で効率的に進めることができるよう、市の裁量のある事業を中心に実施した事務事業評価に基づき、

・長期間成果が上がっていない事業
・市民ニーズの変動にもかかわらず見直しがなされていない事業等

について、効率化、整理統合等といった行政改革の視点での事業の在り方について、今年度と同様に外部評価として、委員各位の専門的な立場からご意見・ご提案をいただきます。

(2) 外部評価は、６月下旬から７月上旬にかけて、３回程度（各回３時間程度）審議会を開催する予定。

※　外部評価対象事業は、事務局から依頼するものと委員が希望するものを踏まえて決定する予定（６月上旬の審議会で実施方法を説明し、アンケートを依頼する予定）。

(3) 評価結果

・通常の審議会の会議録と同様に、市ホームページにて公表
・いただいたご意見・ご提案は、予算編成や事業の見直しに活用

「第五次長野市総合計画の施策とSDGs関連表」について

1　基本的な考え方

・長野市は、国連で採択されたSDGsの主旨を理解し、今の市民も、未来の市民も住みよい持続可能なまちづくりに積極的に取り組むためにSDGsを推進していく。
・最上位の総合計画にSDGs視点を取り入れることで、各個別計画や各事業にもSDGsの要素を反映していく。
・行政評価にSDGs視点を取り入れ事業の見直しの参考とし、持続可能性の高い施策展開、事業構築を図る。
・SDGsをコミュニケーションツールとして活用し、様々な関係者との連携を促進する。

このため、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」仮訳を参照し、自治体レベルで取り組む内容、キーワード等の記載内容を整理した上で、現行の第五次長野市総合計画前期基本計画の施策とSDGsとの関連を整理した。

※　総合計画の55施策について、目指す状態、主な取組み、実施計画（各事業）をSDGsゴール及びターゲットと照合し、各施策に該当するSDGsゴールを記載し作成。

2　活用方法

・各政策・施策の目的、目指す状態について、多様な関係者と共有する際に、世界共通言語としてSDGsゴールを活用
・分野横断的連携など施策や事業の展開に戦略性を導入する際に、SDGs視点から経済、社会、環境のバランスを確認することに活用したり、行政評価（施策及び事業評価）の評価視点として活用

3　留意点

・各施策の主要な目的に該当するSDGsゴールを選択し記載。事業レベルで内容を広範にとらえるとマーク付けされていない別のゴールも該当する場合がある。
・横軸は各施策に関連するゴール数を集計。17ゴールへの寄与度の目安となる。
・縦軸は各ゴールに関連する施策数を集計。市の施策上の重要度の目安となる。
・各ゴールの表示順を、経済、社会、環境分野で並び替えており、それぞれの政策、施策が３分野にどう影響しているか確認できる。

第五次長野市総合計画　前期基本計画の施策とSDGsの関連表

	分野	政策名			社会						
		施策No.	施策名		貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和
経済	行政経営	市民が主役のまちづくりの推進									
		1-1-1	市民とともにつくる市政の推進	広報広聴課							○
		1-1-2	市民によるまちづくり活動の支援	地域活動支援課							○
		将来にわたり持続可能な行財政運営の確立									
		1-2-1	効果的で効率的な行財政運営の推進	行政管理課							○
		1-2-2	市民の満足が得られる市政の推進	行政管理課							○
		1-2-3	地方中核都市としての役割の遂行	企画課							○
社会	保健・福祉	少子化対策・切れ目ない子育て支援									
		2-1-1	結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援	こども政策課			○		○		○
		2-1-2	子どもの成長を育む環境の充実	保育・幼稚園課				○			○
		2-1-3	社会的援助を必要とする家庭等の自立支援	子育て支援課	○				○	○	○
		生きがいのある豊かな高齢社会の形成									
		2-2-1	高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進	高齢者活躍支援課			○				○
		2-2-2	高齢者福祉サービスの充実	介護保険課			○				○
		だれもが自分らしく暮らせる社会の形成									
		2-3-1	障害者（児）福祉の充実	障害福祉課				○		○	○
		2-3-2	認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現	福祉政策課			○				○
		2-3-3	生活の安定と自立支援	生活支援課	○					○	○
		安心して暮らせる健康づくりの推進									
		2-4-1	健康の保持・増進の支援	健康課		○	○				○
		2-4-2	保健衛生の充実	健康課			○				○
		2-4-3	地域医療体制の充実	医療連携推進課			○				○
		人権を尊ぶ明るい社会の形成									
		2-5-1	人権尊重社会の実現	人権・男女共同参画課	○			○	○	○	○
		2-5-2	男女共同参画社会の実現	人権・男女共同参画課	○			○	○	○	○
環境	環境	環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成									
		3-1-1	低炭素社会の実現	環境保全温暖化対策課							○
		3-1-2	循環型社会の実現	生活環境課							○
		自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進									
		3-2-1	豊かな自然環境の保全	環境保全温暖化対策課				○			○
		3-2-2	良好な生活環境の保全	生活環境課			○				○
社会	防災・安全	災害に強いまちづくりの推進									
		4-1-1	防災・減災対策の推進	危機管理防災課							○
		4-1-2	消防力の充実・強化及び火災予防	消・総務課							○
		安心して暮らせる安全社会の構築									
		4-2-1	交通安全対策の推進	交通政策課			○				○
		4-2-2	防犯対策の推進	地域活動支援課							○
		4-2-3	安全な消費生活の確保	市民窓口課							○
社会	教育・文化	未来を切り拓く人材の育成と環境の整備									
		5-1-1	幼児教育から高等教育までの充実	学校教育課				○			○
		5-1-2	子どもに応じた支援の充実	学校教育課	○			○		○	○
		5-1-3	家庭・地域・学校が相互に連携した教育力向上	家庭・地域学びの課				○			○
		豊かな人生を送るための学習機会の提供									
		5-2-1	生涯学習環境の充実	家庭・地域学びの課				○			○
		5-2-2	学習成果を活かした地域づくりへの参加促進	家庭・地域学びの課							○
		魅力あふれる文化の創造と継承									
		5-3-1	多彩な文化芸術の創造と活動支援	文化芸術課				○			○
		5-3-2	文化の継承による魅力ある地域づくりの推進	文化財課							○
		スポーツを軸としたまちづくりの推進									
		5-4-1	だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	スポーツ課			○			○	○
		5-4-2	スポーツを通じた交流の拡大の推進	スポーツ課							○
		国際交流・多文化共生の推進									
		5-5-1	国際交流活動の推進	観光振興課				○			○
		5-5-2	多文化共生の推進	観光振興課	○			○		○	○

2020.3.11

環境					経済				全体			
水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	インフラ、産業化、イノベーション	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	実施手段	施策	施策名	
									○	1-1-1	市民とともにつくる市政の推進	4
							○		○	1-1-2	市民によるまちづくり活動の支援	5
							○		○	1-2-1	効果的で効率的な行財政運営の推進	5
							○		○	1-2-2	市民の満足が得られる市政の推進	5
							○		○	1-2-3	地方中核都市としての役割の遂行	5
									○	2-1-1	結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援	5
									○	2-1-2	子どもの成長を育む環境の充実	4
					○				○	2-1-3	社会的援助を必要とする家庭等の自立支援	7
					○				○	2-2-1	高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進	5
									○	2-2-2	高齢者福祉サービスの充実	4
					○		○		○	2-3-1	障害者(児)福祉の充実	7
							○		○	2-3-2	認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現	5
									○	2-3-3	生活の安定と自立支援	5
									○	2-4-1	健康の保持・増進の支援	4
○									○	2-4-2	保健衛生の充実	5
									○	2-4-3	地域医療体制の充実	4
					○		○		○	2-5-1	人権尊重社会の実現	8
					○				○	2-5-2	男女共同参画社会の実現	7
	○	○		○		○	○	○	○	3-1-1	低炭素社会の実現	10
○			○			○	○	○	○	3-1-2	循環型社会の実現	9
○			○	○			○	○	○	3-2-1	豊かな自然環境の保全	9
○			○				○	○	○	3-2-2	良好な生活環境の保全	8
		○					○		○	4-1-1	防災・減災対策の推進	6
							○		○	4-1-2	消防力の充実・強化及び火災予防	5
							○		○	4-2-1	交通安全対策の推進	5
									○	4-2-2	防犯対策の推進	4
									○	4-2-3	安全な消費生活の確保	4
									○	5-1-1	幼児教育から高等教育までの充実	5
									○	5-1-2	子どもに応じた支援の充実	6
							○		○	5-1-3	家庭・地域・学校が相互に連携した教育力向上	6
									○	5-2-1	生涯学習環境の充実	5
							○		○	5-2-2	学習成果を活かした地域づくりへの参加促進	5
									○	5-3-1	多彩な文化芸術の創造と活動支援	5
							○		○	5-3-2	文化の継承による魅力ある地域づくりの推進	5
									○	5-4-1	だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	5
					○				○	5-4-2	スポーツを通じた交流の拡大の推進	5
									○	5-5-1	国際交流活動の推進	5
									○	5-5-2	多文化共生の推進	6

	分野	政策名 施策No.	施策名		社会 貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和
経済	産業・経済	魅力を活かした観光の振興									
		6-1-1	豊富な観光資源等を活かした観光交流の促進	観光振興課							○
		6-1-2	インバウンドの推進	観光振興課							○
		6-1-3	コンベンションの誘致推進	観光振興課							○
		活力ある農林業の振興									
		6-2-1	多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進	農業政策課		○					○
		6-2-2	地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進	農業政策課		○					○
		6-2-3	森林の保全と資源の活用促進	森林農地整備課							○
		特色を活かした商工業の振興									
		6-3-1	商工業の強化と環境整備の促進	商工労働課							○
		6-3-2	地域の特性が光る商工業の推進	商工労働課							○
		6-3-3	新たな活力につながる産業の創出促進	商工労働課							○
		安定した就労の促進									
		6-4-1	就労の促進と多様な働き方の支援	商工労働課				○	○	○	○
		6-4-2	勤労者福祉の推進	商工労働課							○
経済	都市整備	いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進									
		7-1-1	地域の特性に応じた都市機能の充実	都市政策課							○
		7-1-2	暮らしを支える生活機能の維持	道路課							○
		7-1-3	多世代のだれもが暮しやすいまちづくりの推進	建築指導課						○	○
		7-1-4	地域の特色を活かした景観の形成	都市政策課							○
		拠点をつなぐネットワークの充実									
		7-2-1	地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築	交通政策課							○
		7-2-2	拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	交通政策課							○
					6	3	10	13	5	10	55

■計画推進重点テーマ

	分野			社会 貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和
分野横断的取組	テーマ1									
	「魅力ある地域づくり」～暮らし続けられる環境づくりに向けて～									
		重1-1	安心して暮らす			○				○
		重1-2	ともに支える	○		○				○
		重1-3	地域が輝く		○					○
		重1-4	生活機能を守る							○
		重1-5	自然を保全・活用する							○
	テーマ2									
	「にぎわいあるまちづくり」～交流人口の増加に向けて～									
		重2-1	存在感を示す							○
		重2-2	人が集う							○
		重2-3	文化・スポーツを楽しむ							○
		重2-4	新しい人の流れをつくる							○
	テーマ3									
	「活力あるまちづくり」～定住人口の増加に向けて～									
		重3-1	子どもを産み育てる	○		○	○	○	○	○
		重3-2	いつまでも健康に暮らす		○	○				○
		重3-3	元気な身体をつくる			○				○
		重3-4	仕事が生まれる							○
		重3-5	企業が育つ							○
				2	2	5	1	1	1	14

環境					経済				全体			
水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	インフラ、産業化、イノベーション	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	実施手段	施策	施策名	
					○	○		○	○	6-1-1	豊富な観光資源等を活かした観光交流の促進	7
					○	○		○	○	6-1-2	インバウンドの推進	7
					○	○		○	○	6-1-3	コンベンションの誘致推進	7
					○	○	○		○	6-2-1	多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進	7
					○	○		○	○	6-2-2	地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進	7
	○			○	○	○	○		○	6-2-3	森林の保全と資源の活用促進	9
					○	○			○	6-3-1	商工業の強化と環境整備の促進	6
					○	○		○	○	6-3-2	地域の特性が光る商工業の推進	7
					○	○			○	6-3-3	新たな活力につながる産業の創出促進	6
					○				○	6-4-1	就労の促進と多様な働き方の支援	8
					○				○	6-4-2	勤労者福祉の推進	5
				○		○	○		○	7-1-1	地域の特性に応じた都市機能の充実	7
○						○	○		○	7-1-2	暮らしを支える生活機能の維持	7
				○			○		○	7-1-3	多世代のだれもが暮しやすいまちづくりの推進	7
				○			○		○	7-1-4	地域の特色を活かした景観の形成	6
	○	○				○	○		○	7-2-1	地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築	8
	○	○				○	○		○	7-2-2	拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	8
5	4	4	3	6	17	15	25	9	55			

環境					経済				全体			
水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	インフラ、産業化、イノベーション	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	実施手段	施策	施策名	
							○		○	重1-1	安心して暮らす	5
							○		○	重1-2	ともに支える	5
	○	○		○					○	重1-3	地域が輝く	7
						○	○		○	重1-4	生活機能を守る	6
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	重1-5	自然を保全・活用する	13
					○	○		○	○	重2-1	存在感を示す	7
					○	○		○	○	重2-2	人が集う	7
					○		○		○	重2-3	文化・スポーツを楽しむ	6
					○	○	○		○	重2-4	新しい人の流れをつくる	7
									○	重3-1	子どもを産み育てる	7
									○	重3-2	いつまでも健康に暮らす	4
									○	重3-3	元気な身体をつくる	4
					○	○		○	○	重3-4	仕事が生まれる	7
					○	○		○	○	重3-5	企業が育つ	7
1	2	2	1	2	7	7	6	5	14			

SDGs 長野市版評価視点（令和2年3月 11 日）【評価項目順】

社 会

目　標	貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
評価視点（長野市版）	・生活の安定（誰もが自分らしく暮らすことができる）や自立支援に寄与しているか ・安定した就労につながっているか ・いきいきと暮らすことに寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●あらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を半減（1.2） ●最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策を実施（1.3） ●貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組構築（1.b）	
備　考	・生活安定・自立（女性、子ども、外国人）　・保健・福祉 ・就労促進	

目　標	飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
評価視点（長野市版）	・健全な食生活の定着に寄与しているか ・活力ある農業の振興に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●すべての人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られる（2.1） ●あらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う（2.2） ●小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増（2.3） ●持続可能な食料生産システムを確保し、強靭（レジリエント）な農業を実践（2.4）	
備　考	・保健衛生　・農業	

目　標	保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
評価視点（長野市版）	・安心して暮らすことができる健康づくりに寄与しているか ・安心して暮らすことができる安全社会の構築に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●エイズ、結核などの感染症に対処（3.3） ●精神保健及び福祉を促進（3.4） ●薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化（3.5） ●道路交通事故による死傷者を半減（3.6） ●家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する保健サービスをすべての人々が利用できる（3.7） ●すべての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスを達成（3.8） ●有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少（3.9）	
備　考	・保健衛生　・交通安全 ・健康づくり　・環境就労促進	

目　標	教育	すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
評価視点（長野市版）	・ライフステージに応じた学習の機会の提供に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●質の高い乳幼児の発達支援、ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整う（4.2） ●技術的・職業的スキルなどを備えた若者と成人の割合を大幅に増加（4.4） ●教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者及び子どもなど、あらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできる（4.5） ●子ども、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、学習環境を提供（4.a）	
備　考	・教育・文化 ・切れ目ない子育て支援	・職業教育・就労促進

目　標	ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う
評価視点（長野市版）	・人権を尊ぶ明るい社会形成に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●すべての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃（5.1） ●すべての女性及び女児に対する、あらゆる形態の暴力を排除（5.2） ●無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価（5.4） ●政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保（5.5） ●女性の能力強化促進のため、ICT をはじめとする実現技術の活用を強化（5.b） ●ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性及び女子のあらゆるレベルでの能力強化のための適正な政策を導入・強化（5.c）	
備　考	・人権・男女参画社会形成 ・教育	・就労促進 ・育児・介護

目　標	不平等	各国内及び各国間の不平等を是正する
評価視点（長野市版）	・だれもが年齢、性別、障害、経済的地位等の状況に関係なく、いきいきと暮らすことができることに寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進（10.2） ●差別的な慣行の撤廃、ならびに適切な行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正（10.3） ●税制、賃金、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、平等の拡大を漸進的に達成（10.4）の件数を大幅に減少（3.9）	
備　考	・福祉	・教育

社 会

目　標	平和		持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
評価視点（長野市版）	・人権尊重社会の実現に寄与しているか ・事業の透明性を確保しているか		
ターゲットにおけるキーワード	●すべての形態の暴力を大幅に減少(16.1) ●子どもに対する虐待及びあらゆる形態の暴力を撲滅(16.2) ●有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展(16.6) ●包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保(16.7) ●情報への公共アクセスを確保(16.10)		
備　考	・行政の説明責任 ・透明性の確保、コンプライアンス		

環　境

目　標	水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
評価視点（長野市版）	・良好な生活環境が保全されているか ・豊かな自然環境を保全し次世代への継承に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●安全で飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成（6.1） ●適切な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成（6.2） ●汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化などにより水質を改善（6.3） ●山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼などの水に関連する生態系の保護・回復を実施（6.6） ●水と衛生に関わる分野の管理向上への地域コミュニティの参加を支援・強化（6.b）	
備　考	・上下水道　　・自然環境保全	

目　標	エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
評価視点（長野市版）	・環境に負荷をかけない持続可能な社会形成に寄与しているか ・新たな活力につながる産業創出に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大（7.2） ●エネルギー効率の改善率を倍増（7.3） ●エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進（7.a）	
備　考	・低炭素施策　　・バイオマス等新産業創出	

目　標	気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
評価視点（長野市版）	・災害に強いまちづくりを推進しているか ・低炭素社会の実現に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応力を強化（13.1） ●気候変動対策を戦略及び計画に盛り込む（13.2） ●気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善（13.3）	
備　考	・災害対応（教育・啓発含む）　　・環境	

環　境

目　標	海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
評価視点（長野市版）	・良好な生活環境の保全に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減(14.1)	
備　考	・陸上活動による汚染防止	

目　標	陸上資源	陸上生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
評価視点（長野市版）	・豊かな自然環境の保全に寄与しているか ・森林の保全と資源の有効活用に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保(15.1) ●あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、劣化した森林を回復し、新規植林及び再植林を大幅に増加(15.2) ●生物多様性を含む山地生態系の保全(15.4) ●絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための対策を講じる(15.5) ●保護の対象となっている動植物種の密猟及び違法取引を撲滅するための対策を講じる(15.7) ●外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶(15.8) ●生態系と生物多様性の価値を、地方の計画策定、開発プロセス及び貧困削減のための戦略及び会計に組み込む(15.9) ●生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金の動員及び大幅な増額(15.a) ●保全や再植林を含む持続可能な森林経営を推進するため、あらゆるレベルのあらゆる供給源から、持続可能な森林経営のための資金の調達(15.b)	
備　考	・陸域生態系維持・絶滅危惧種保護 ・森林の維持 ・ジビエ	

経 済

目　標	経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
評価視点（長野市版）	・産業の活力と賑わい創出に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●一人当たり経済成長率を持続（8.1） ●多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成（8.2） ●生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、中小零細企業の設立や成長を奨励（8.3） ●若者や障害者を含むすべての男性及び女性の生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事を達成（8.5） ●就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす（8.6） ●移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の安全・安心な労働環境を促進（8.8） ●雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施（8.9）	
備　考	・商工業振興　、　観光振興　、　就労促進 ・障害者・高齢者雇用 ・移住者対応（就労含む）	

目　標	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ	強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
評価視点（長野市版）	・多様化するニーズに対応した持続可能な産業実現に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●経済発展と人間の福祉を支援するために、質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靭（レジリエント）なインフラを開発（9.1） ●持続可能な産業化を促進し、雇用及び GDP に占める産業セクターの割合を大幅に増加（9.2） ●資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上（9.4） ●イノベーションを促進させることなど、産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上（9.5）	
備　考	・工業振興（イノベーション） ・新たな産業（福祉、教育、環境等）	

経 済

目　標	持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
評価視点（長野市版）	・快適に暮らし活動できるまちづくりに寄与しているか ・多彩な文化の継承に寄与しているか ・災害に強いまちづくりを推進しているか ・良好な生活環境の保全に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供(11.2) ●包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化(11.3) ●文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化(11.4) ●災害による死者や被災者数を大幅に削減し、経済損失を大幅に減らす(11.5) ●大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減(11.6) ●女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供(11.7) ●経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援(11.a) ●あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施(11.b)	
備　考	・都市整備 ・文化	・防災 ・環境

目　標	生産と消費	持続可能な生産消費形態を確保する
評価視点（長野市版）	・環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成の実現に寄与しているか ・生活環境の保全に寄与しているか ・持続可能な観光の振興に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成(12.2) ●一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少(12.3) ●環境上適正な化学物資やすべての廃棄物の管理を実現、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減(12.4) ●廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減(12.5) ●持続可能な公共調達の慣行を促進(12.7) ●持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする(12.8) ●雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入(12.b)	
備　考	・食品ロス、クールチョイス ・環境汚染防止	・観光（雇用、文化振興、産品販促） ・森林

全 体

目　標	実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
評価視点（長野市版）	・市民が主役のまちづくりの推進に寄与しているか	
ターゲットにおけるキーワード	●持続可能な開発のための政策の一貫性を強化（17.14） ●さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進（17.17）	
備　考	・効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップの奨励・推進	

令和2年度　事務事業評価シート【相対評価シート】（評価対象：　令和元年度）

分野名	4　防災・安全分野

政策名	1　災害に強いまちづくりの推進

施策名	1　防災・減災対策の推進
目指す状態	災害発生に備え、被害を最小限に抑制できる体制や整備が整っている。

施策名	2　消防力の充実・強化及び火災予防
目指す状態	市民の防災意識が高く、消防・救急・救助体制の充実により市民の生命・財産が守られている。

No.	総合計画上の分野（施策）	事業名	課	目的	内容	（単位：千円）R1 予算	R1 決算	市の裁量の有無	成果・効果 活動指標 内容	単位	R1目標	R1実績	成果・効果指標 内容	単位	R1目標	R1実績
当該政策が主に関連するゴール（SDGs関連表）																
178	4-1-1	長野県総合防災訓練	危機管理防災課	防災関係機関との連携を強化し、災害時の対応力向上を図るとともに、市民の防災意識の高揚を図るため、長野県と共催で総合的な防災訓練を実施する。 ・開催平成31年10月20日（日）　・場所犀川第二緑地ほか ・参加者市、県、指定地方行政機関、警察、陸上自衛隊、住民並びに事業所等		7,886										
179	4-1-1	自主防災組織強化事業	警防課	自主防災組織の災害対応力の向上により、災害による被害の軽減を図る。	・自主防災組織の長及び防災指導員を対象とした研修会の実施 ・災害対応や訓練の実施促進のための必要物品の購入 ・自主防災訓練時の災害補償のための費用	6,636		○	地区別自主防災組織リーダー研修会実施件数	件	16		防災訓練実施率	%	100	
180	4-1-1	避難行動要支援者支援事業	福祉政策課	高齢者や障害者等、災害時の避難に支援を必要とする「避難行動要支援者」の台帳を整備し、同意を得られた要支援者の名簿を地域防災関係者（避難支援等関係者）に提供する。		1,262										
181	4-1-1	避難場所等Wi-Fi環境（公衆無線LAN）整備事業	危機管理防災課	災害時の必要な情報伝達手段及び通信手段を確保するため、避難場所におけるWi-Fi接続を可能にし、避難者、観光客、帰宅困難者等への情報提供を行うとともに、平時においても施設利用者の利便性向上を図る。 ・設置場所：篠ノ井中央公園、近隣公園（長野駅東口）		5,874										
182	4-1-1	災害応急対策事業	危機管理防災課	災害に対する備えを充実することにより、災害時の被害を軽減し、市民の生命・財産を守る。	・住民、通勤・通学者、旅行者など災害時の長野市滞在者の安全を確保するため、災害時に必要となる食料、飲料水、日常生活用品、緊急資機材等必要な物資等を計画的に備蓄する。 ・避難場所を示す標識を整備する。	89,433		○	主要9品目の備蓄品等の購入数	式	10200		各備蓄品の目標数に対する現有備蓄数の割合	%	64.8	
183	4-1-1	防災行政無線デジタル化事業	危機管理防災課	防災行政無線のデジタル化整備に合わせ、緊急放送が聞きとりにくい難聴地域の解消と、双方向通信機能などによる情報伝達機能の強化を図る。 ・事業期間平成30年度～32年度 ・総事業費約22億円 ・平成31年度事業内容実施設計及び実施計画に基づく施工		620,000										
184	4-1-1	洪水ハザードマップ作成事業	危機管理防災課	洪水から人命を守るとともに被害を最小限とする。	国及び県が管理する河川の想定最大規模降雨に伴う浸水想定区域図等に基づき、洪水浸水想定区域、洪水予報等の伝達方法、避難施設及び避難経路等に関する情報の周知等を行うため、洪水ハザードマップを作成し、住民などに配布する。	17,761		○	洪水ハザードマップデータ作成及び印刷・配布進捗率	%	印刷・配布100		洪水ハザードマップを配布した世帯	数	163496	

※評価
4＝この評価項目では見直しをすべき
3＝この評価項目ではどちらかというと見直しをすべき
2＝この評価項目ではどちらかというと見直しをすべきではない
1＝この評価項目では見直しをすべきではない

達成状況評価		部局の方針		社会							環境					経済				全体	
評価	評価の理由	R2年度以降の方針	方針の理由	貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	インフラ、産業化、イノベーション	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	実施手段	平均評価点
										★			★					★		★	
B	自主防災組織リーダー研修会は、消防局の署、分署等の単位で管内の自主防災組織を対象に実施をしており、全ての署、分署等で実施した。 自主防災訓練実施率については、全ての自主防災組織が実施することを目標にしているが、天候不良等の理由により中止になるなど目標を達成できなかった。	現行のまま継続	自主防災組織単独での訓練に併せ、自主防災組織連絡協議会等での訓練実施を促進し、災害対応力の強化に加え、連携力の強化を図る。 さらに、地域防災力の中核である消防団との連携についても強化を図る。							4			4					4		4	4.00
B	災害用資機材の配備については、東日本大震災や熊本地震の経験から、簡易トイレ、毛布をはじめ長期避難に必要な生活用品、プライバシーに配慮したプライベートルーム等の主要9品目の備蓄品等を購入するとともに、多種多様化している防災用品に対して、常に最新の情報を得て備蓄資機材の充実を図った。	現行のまま継続	長野市防災アセスメントによる被害想定に基づき、必要な備蓄品の購入・配備を進め、避難所生活を想定した生活必需品を中心に備蓄していく。							4			4					4		4	4.00
B	当事業は、平成30年度から平成31年度の2カ年での期間で完成を目指しており、平成30年度は、当初の予定通り、洪水ハザードマップデータの作成が全て完了した。	終了	平成31年度中に事業完了予定							4			4					4		4	4.00